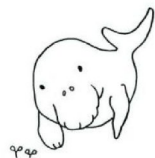


CONTENTS



- 2/3 情勢 移設反対の市長派が圧勝！
- アブダビから COP10 へ
- 県知事選
- 4/5 報告・多様性シンポ&パレード
- 6/7 IUCN 親善大使 イルカコンサート
- 体験講座で広がるジュゴン
- 8 お知らせ「写真貸し出しています」

猛暑の日の日本列島。異常気象を体感する。8月1日エル大阪でのSDCC主催の全交分散会は、皆の元気な姿に会えて嬉しかった。とにかく10月のCOP10に向けて頑張らなければならない。分散会終了後は午後2時から、大正区民ホールで開かれた関西沖縄県人会「普天間基地撤去・辺野古基地建設反対！」総会に参加。このような政治的課題でまとまることのなかった県人会が、初めて一つになってくれて感動した。できるだけ早くジュゴンの歴史的文化的価値について、本土在住の沖縄出身者にも伝えなければならないと思った。

「道成寺と龍宮神」 SDCC 共同代表 海勢頭 豊

民主党政権は今や頼りになるところか辺野古の海も山原の自然も破壊する方向で動き出している。辺野古基地の米軍自衛隊共同使用論を持ち出してきた防衛省に、激しい怒りを覚えてならない。かくなる上は天皇制国家の虚偽を明かすパンドラの箱を開かざるを得ない。その箱を開ける鍵が「龍宮神ジュゴン」だ。それを広く国民に伝え、日本に於ける差別の実態を告発検証する。そのことを政治課題にしない限り恐らく辺野古を中心とした沖縄問題は解決できない。

古代日本に於いて、沖縄から伝わったジュゴンの平和思想は、広く人々に崇敬され祀られていた。それが仏教伝来と国家権力が結託したことによって、次第に抑圧され、邪信迷信の類に扱われて差別され、歴史の影で虐げられてきたのである。仏教界は結局武力信仰を容認するはめになったが、龍宮神ジュゴンの平和思想を信仰する人々はそれを受け入れず、ニライカナイの原郷である沖縄に南下し、琉球王国を創建する力の中心になったと考えられる。しかしその龍宮神差別をした空海による四国巡礼は今も残り、また和歌山日高の道成寺も法力によって龍宮神を退治するという反平和思想芸能文化を今も伝え残している。

かつて菅直人が年金未納問題で頭を丸め四国巡礼をしたが、それこそが沖縄差別・琉球差別であり、「天皇の神制」を保証する「龍宮神」差別であることを知ってもらいたい。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



猛暑の中パレードを盛り上げてくれた歌舞団エイサーと大阪行動の着ぐるみジュゴンちゃん (4面)



選挙活動のあいまに昼食で一息いれる渡具知さん (3面)



ジュゴン国際会議（アブダビ）からCOP10（名古屋）へ



ジュゴン保護協定国際会議がアラブ首長国連邦（アブダビ）で10月4日から3日間開かれます。2007年10月に12カ国が調印したジュゴン保護覚え書きをふまえた第1回締約国会議です。この政府間会議に日本政府が参加しないので、SDCCがオブザーバーとして参加して沖縄ジュゴンが置かれた現状についてプレゼンテーションを行います。「米軍基地建設による沖縄ジュゴンの危機とIUCN決議、ジュゴン訴訟の取り組み」がそのテーマです。ジュゴンの生息地を保護するために、調査交流、保護意識の向上と法的措置の改善を図ることがこの会議の目的で、海草藻場の資源を保全し活用することにつながります。ボン条約（移動性野生動物の保全に関する条約）の事務局がバックアップしています。

「覚え書き」にはジュゴンを保護しなくてはならないとの法的な拘束力や罰則がないにもかかわらず、日本政府は「法的拘束力があるから」と嘘をでっち上げて国際会議への参加を拒否しています。SDCCの参加の目的は国際会議でこの点について再確認し、日本政府の嘘を暴露することです。もう一つの目的は、生物多様性条約（CBD）COP10（名古屋）で、議長国日本政府にその資格があるか否かを問うためです。COP10には192カ国・1地域が参加します。

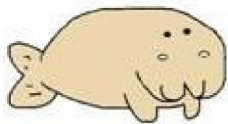


2008年IUCN総会（バルセロナ）

COP10議長国である日本政府が、三度のIUCN決議・勧告に取り上げられた絶滅危惧種・沖縄ジュゴンの保護に消極的であることを暴露して、IUCN決議の履行を求めることが最大の目的です。

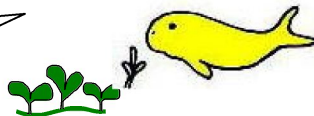
国際会議ではジュゴン保護国際会議の報告とIUCN決議の履行を求めるチラシ（英語、日本語）を1万枚配布します。海草藻場の保全決議を提案する日本政府が、沖縄本島の海草藻場を米軍基地建設で破壊しようとしている矛盾を明らかにすることでCOP10議長国の責任を徹底して追求します。

COP10
ってなに？



第10回締約国会議の略称で、10月名古屋で行われるこの会議は生物多様性条約（CBD）のCOP10です。10月18日から29日まで名古屋国際会議で192カ国1地域が参加して開催されます。生物多様性条約は「地球に生きる命（いのち）のための条約」と言われていますが、自然保護、生物資源の持続可能な利用だけでなく、平和、開発と貧困、先住民族の権利・伝統的知識等、沖縄と密接に関係する問題に取り組んでいます。

ジュゴン保護
協定って？



2004年IUCN第3回世界自然保護会議をふまえて、オーストラリアとタイの両政府が呼びかけ2005年、2006年にバンコクで開かれた会議で、覚え書きの作成が行われました。2007年10月には覚え書きに調印が行われ、昨年には12カ国が調印。未だ調印していない6カ国も国家としてジュゴン保護を優先的に行うことを確認しています。今回の会議で調印されれば、来年1月から覚え書きは協定として発効します。



じゅごんの里に貼られたバナー

「基地建設を止め、ふるさとの自然を守り保護区で地域おこしを」という東恩納琢磨さんに、市民の期待が集まりました。

移設反対の市長派が圧勝！ ～たくま候補上位当選

9月12日名護市議会選挙で東恩納琢磨さんが二期目の当選を果たしました。投票率は72.07%で32,384票と前回74.66%、32,485票を下回りました。定数27に37人が立候補したにもかかわらず、前回の728票を大幅に超える1059票で、10位で当選しました。「稲嶺市長を支える」「ふるさとは宝。ジュゴンの海を守り、地域おこしを進める」などの政策が市街地をふくめて多くの支持を受けたからです。

与野党の議席数は16対11、改選前から4議席増やし、絶対多数を実現しました。稲嶺市長は「新しい基地は陸にも海にもつくらせないという市民の判断だ。政府に対して堂々と訴えていく」と決意を新たにしています。沖縄県知事選挙（11月28日）に立候補する伊波洋一さん（宜野湾市長）は「日本



応援演説する稲嶺市長

政府がかなりテコ入れをした野党が惨敗したのだから、地元の意見に真剣に向き合うべきだ」と訴えています。ジュゴンの里ツアーでつくりだした稲嶺市政との連携を、市議会与党にも広げて「基地ではなくジュゴン保護区」を実現したいと思います。

～勝利を支えた活動



雨の中の練り歩き

琢磨選挙活動にSDCCスタッフが2人参加しました。告示日のポスター貼りから始まり、市街地での朝立ち、選挙ハガキの送付、電話かけ、市街地の練り歩き、自転車による宣伝など。琢磨候補への名護市民の期待の広がりを日々感じていました。瀬嵩の渡具知武清さん家族は寝食を忘れて市街地での宣伝行動も取り組みました。琢磨選挙でのテーマソング「線路は続くよ」は、家族全員で演奏、合唱したものです。家族の歌声は温かい琢磨さんの人柄を訴えることができたと思います。稲嶺市長も琢磨支援のスポット演説に立つなど全力投球しました。名護市議選の勝利をふまえて、ジュゴン保護区づくりを進めるために、10月アラブ首長国連邦（アブダビ）でのジュゴン生息国会議（4日～6日）、名古屋でのCOP10（18日～29日）の取り組みを強めます。ご支援をお願いします。（蛸川義章）

<沖縄県知事選挙 11月28日>

名護市議選が市長派の圧勝で終わり、次は沖縄県知事選挙。辺野古への新基地建設を進める日本政府にとって、新基地建設容認の仲井真知事を勝たせたい選挙。自民、公明両党県連や財界の出馬要請をふまえて、仲井真知事はやっと立候補声明をしました。しかし、6月沖縄県議会決議「普天間飛行場移設の日米共同声明の見直しを求める意見書」が足かせとなり、公約が未だに普天間基地移設の政策を明示できていません。

県知事選挙に立候補するのは、社民、共産、社大党から推薦を受けた宜野湾市長・伊波洋一さん。保守の一部から立候補要請されていた翁長那覇市長は自らの出馬を否定し、仲井真知事を支持することを明らかにしました。菅内閣も9月10日、県と政府で沖縄振興について話し合う沖縄政策協議会を官邸で開き、沖縄振興特別措置法が終了する11年度以降の新たな振興を議論する沖縄振興部会と、基地負担軽減部会の2部会を設置するなど仲井真知事支援の動きをしています。しかし、米軍普天間飛行場移設問題を議題にしないように、県民世論がくさびを打ち込んでいます。伊波洋一知事誕生に向け頑張らしましょう。



支援者に囲まれて街頭演説する東恩納琢磨さん

つながるすべてのいのちのために

9/4 シンポジウム

9月4日「シンポジウム～生物多様性と私たち～」が大坂弁天町市民学習センターで行われ、約80名と10団体の参加がありました。自分にはどうしようもできないと思いがちな様々な環境問題を身近に感じ、一人ひとりができることを考えてもらうため、専門家や有名人ではなく、普通の人たちが知ったこと、感じたこと、思いを伝えていて、親しみやすい内容でした。

～生物多様性と私たち～

SDCCからも2名が辺野古の現状、ジュゴンの里ツアーで感じたことなどを発表しました。「平和のシンボルであるジュゴンが基地建設によりいなくなろうとしている」という言葉に会場の雰囲気が一瞬変わりました。ジュゴン保護・平和…SDCCの思いが多くの人々の心に残ったと思います。



シンポジウムの後半は「じぶん条約」として一人ひとりがこれからしていくことを宣言し、太鼓のリズムに合わせて、翌日のパレードの歌を元気よく歌いました。楽しみながら色々なことを知り、考え、自分の行動につなげられる意味深いシンポジウムでした。(関西・正阿彌 崇子)



生物多様性のこと「ちゃんと知ろう」「楽しく伝えよう」
9月4-5日の2日間、大阪で生物多様性のシンポジウムとパレードをしました。



9/5 パレード

9月4日のシンポジウムに引き続いて、5日には「生物多様性パレード on 御堂筋」がありました。5月行われた「生物多様性の日パレード」の第2弾です。生物多様性=いのちのつながりを感じてほしいと訴えるためにいろんな団体が集まってくれました。今年は猛暑でうだるような暑さの中、70人くらいの人達でパレードです！集合は大阪・本町にある新町北公園からスタートして浪速公園までのおよそ1時間で、暑さとの闘いでした。でもテーマ曲の「風になりたい」に乗ってみんな無事に到着することができました！

生物多様性パレード on 御堂筋

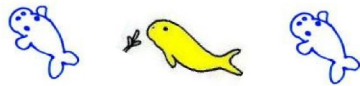
パレードではジャンベチームの学生さんやオーストラリアの楽器、ディジュリドゥを持って参加してくれた人、三味線にエイサー隊と豪華メンバー。鳴り物で沿道の注目を集めました。そこへ途中から登場してくれたジュゴンちゃんのおかげでパレードも最高潮となり、楽しみながら歩くことが出来ました。この暑さの中、着ぐるみでの参加は本当に感謝でした！今回からは沿道の人達に主旨をわかってもらうために、チラシを配布。マイクを使って替え歌やコールで「生物多様性=いのちのつながり」を訴えました。前回は引き続き、今回もテレビ取材があったので多くの人に知ってもらえたと思います。浪速公園到着した時はみんなへろへろでしたが、すがすがしい汗をかくことができたイベントでした。(関西・上田 千鶴)

エコメッセ千葉2010に参加

9月5日に千葉県幕張メッセ国際会議場で開催された、エコメッセ千葉2010にブース出店しました。3月に大阪で開催された生物多様性EXPOの場で、エコメッセ千葉の実行委員の方からお誘いを受けたのがきっかけです。1996年から紆余曲折がありながらも継続してきたビッグイベントで、多くの参加団体からその歴史が感じられます。海の幸や山の幸、作業所、自然食品、環境保護団体、大学、企業・・・など多くの団体が参加しました。

初エントリーのSDCCは、2区画分で余裕を持って販売・署名・折り紙を行いました。今回は特にアースデイで知り合いになった大学生3名にお手伝いして頂き、とても和やかなブースになりました。多くの方々が署名に協力していただき、お礼に手渡したジュゴン折り紙が好評でした。残暑厳しいなかでしたが、国際会議場内でしたので、なんとカー日乗り切りました。来年もぜひ参加させて頂きたいと思いました。

(首都圏・三村昭彦)



天上寺で署名集め

★小樽・天上寺での署名活動★

8月9日～13日の5日間、北海道小樽市の天上寺にてジュゴン啓発&署名活動を行いました。お盆のお忙しい中、場所を提供して頂いた天上寺様には、この場を借りてお礼申し上げます。全体的に、時間が無く急いでいる方が多く見受けられました。そんな中でも署名して下さいの方も多く、ご協力を大変嬉しく思います。

お盆のお墓参り(天上寺はお骨堂です)のため、ご家族でいらっしゃる方が多く見受けられました。こんな時に、ジュゴンの折り紙とシールが大活躍でした。子供が喜ぶと大抵家族全員から署名が頂けます。今回、署名を沢山集める事が出来たのもジュゴン折り紙のお陰です。そして、北海道の地にもジュゴン折り紙が広まったのでは無いかと思います。しかし、残念な事に今回も辺野古の基地移設を容認する方が1名おり、署名を断られました。大抵は個人情報取り扱いの懸念からの署名をお断りされます。1600筆の署名を受取る中で、基地を望む人が如何に少ないかを改めて確認しました。(首都圏・小西祐伸)

<COP10での行動スケジュール>

- 10月17日 1000人パレード
 - 14時若宮大通り公園身にスポーツ広場集合
 - 15時パレード出発～金山～
 - 16時30分名古屋国際会議場一周
 - 10月18日 10時～COP10オープニング(国際会議場)
 - 10月18日～29日 SDCCブースの開設(熱田神宮公園内)
 - 10月23日 12時～ 沖縄ジュゴン保護パフォーマンス
白鳥公園内(国際会議場前)
 - 13時～15時SDCCフォーラム
「沖縄ジュゴンと国際責任」(名古屋学院大学)
 - 10月24日 イルカプロデュースCOP10コンサート
17時開演 名古屋市公会堂
- *COP10会議参加者に
日本政府に対してIUCN決議履行を求める
署名と宣伝をします。スタッフを募集します。



SDCCの
ブースはココ★
熱田神宮公園



報告

UCN親善大使 イルカさんコンサート

IUCN（世界自然保護連合）の親善大使を務めるミュージシャンのイルカさんが、IUCN普及活動のひとつとして続けているコンサート「イルカ with Friends」も6回目となりました。会場はご本人のゆかりの地でもある山梨県の河口湖ステラシアターです。日本向けレッドリスト小冊子などは来場のみなさんから集まったカンパで作られているのですよ。イルカさんの志に賛同し、コンサートには小銭をコツコツ貯めた貯金箱を持参される方も沢山います。

ロビーではIUCNメンバーである私たちNGOの展示、販売の場所も頂き、今年は途中舞台にも呼んでもらえました。ジュゴンちゃんの登場に大きな拍手を頂きました♪イルカさんのご好意により舞台から「2010年国際ジュゴン年&15日はジュゴン

の日」をPRすることができました。ご一緒したゲストの榊原郁恵さんは大のジュゴンファンだとか！アマモを食べるのよねとか、詳しいなあ〜と思ったら鳥羽水族館でジュゴンの1日飼育員をされた事があるそうです。

イルカさんは10月のCOP10期間中に名古屋でもコンサートを開催します。新作のアルバム森羅万象には「サンゴとジュゴンとヤンバルクイナ」という曲を書かれていて、実際に山原（やんばる）の森でヤンバルクイナと出遭った時のインスピレーションをもとに作ったそうです。舞台ではアドリブで「辺野古のジュゴン」という歌詞を入れて歌いました！今年も素敵な仲間たちと楽しいコンサートでした。（小平裕美）



着ぐるみジュゴンと「ハイ・チーズ」イルカさん(中央)と、コンサートにて

ニコルレポート「国際ジュゴン年」

5月9日にリバティ大阪で「ジュゴンをつくろう！」という体験講座を共催しました。一生懸命ジュゴンのマスコットを作ってくれたニコルちゃんが、お友だちの発行している「兄弟姉妹新聞」に“国際ジュゴン年”の記事を載せたこと、新聞を送ってくれました。（↓こちら）



一緒に参加されたお母さんも「あれからジュゴン作りにハマってしまって30体ぐらい作りました親しい方にジュゴンのお話をしながらプレゼントしています」とのこと。ジュゴンが、どんどん仲間を広げてくれます。（写真 ↗）

（山根富貴子）



折り紙ジュゴンにメッセージを書いた郁恵さん



体験講座で ひろがるジュゴン!!

～ほくとわたしのジュゴンをつくろう～



8月5日、泉南市の“人権入門講座～夏休み！親子体験講座”に講師として出かけていきました。テーマは「ほくとわたしのジュゴンをつくろうー自然の大切さ・沖縄の海を考えるー」（写真右下）

SDCCから「ジュゴンってどんな生きもの？」「沖縄ジュゴンをめぐる状況」をお話したあと、マスコット作り開始！型紙に合わせて布を切ったり、布を縫い合わせたり、たくさんの工程があって、結構難しいのですが、小学校低学年の子どもたちも一所懸命作ってくれました。大変だっただけに、出来たときのうれしさもひとしお。マスコットだけでなく、本物のジュゴンも身近で大切な存在になるようです。

参加者の感想からー『初めてジュゴンを見たのは

小学校の修学旅行の時でした。かわいいなあと思ったのが最初です。水族館でしかないと思ったのに沖縄の海で元気に生息していることを今日始めて知りました。しかも今話題の辺野古の海にいたことがびっくりです。そのことを知れただけでも今日参加して良かったと思いました。』

この講座は、5/9 リバティ大阪で共催した体験講座「ジュゴンをつくろう！」に参加して下さった泉南市職員の方の企画です。つながりがつながりを呼ぶ…本当にイベントごとに出会いがあって、それが広がっていきます。マスコット教室したいという方があれば、喜んで出かけていきますよ～。呼んでくださいね。（山根富貴子）



ジュゴン作りに集中するニコルちゃんとお母さん



たくさんの参加者でにぎわった泉南市のマスコット作り
右上は、企画して下さいました参加者の親子

報告

8月1日 全交分野別討議



ZENKO 大会、分野別討議⑦で、「基地ではなくジュゴン保護区をーCOP10にむけて」を開催しました。沖縄の吉川秀樹さんは、辺野古大浦湾を守る活動、高江のへりパッド反対運動、泡瀬干潟を守る活動など、沖縄で COP10 に向けたネットワークが広がっていること、10月アブダビで開催される、ジュゴン保護国際会議に SDCC として出席して、日本政府にジュゴン保護区づくりを求める国際世論をつよめることを報告しました。海勢頭豊さんは、穏やかなジュゴンは、古来より沖縄で絶対平和のシンボルとして信仰の対象になってきた。その意味を今もう一度掘り返し再確認していこう。ジュゴンを守ることは平和を守ること、日本を変えること

と、熱く語られました。

後半、7/2～4に実施した「ジュゴンの里ツアー」など、SDCCの活動報告を映像で行いました。ツアー2日目の交流会で、二見以北10区の会の渡具知武清さんの長男、武龍くんが、「ピースキャンドル行動を毎週土曜日やってきた。嫌だと思ったことはありません。家族がいたから。」とスピーチしている映像には、大きな拍手がありました。

10月名古屋でのCOP10（生物多様性条約締約国会議）にむけ、「基地ではなくジュゴン保護区」のキャンペーンをいっそう強めていきたいと思えます。（松島洋介）



***COP10 (名古屋) へ行こう! ***
 ~ボランティアサポーター募集中~

今年国際生物多様性年&国際ジュゴン年です。10/18~29、名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催され、世界中から各国首脳、政府機関、市民団体が集まってきます。大きなチャンスです。私たちSDCCもこの会議に参加し、ブース出展、フォーラム主催、ロビー活動など様々な取り組みを展開します。世界に向けて『基地ではなく ジュゴン保護区を』とアピールします。そこで、一緒に活動して下さるボランティアサポーターを募集しています!

*こんなことができますよ~。

- ★チラシを配ったり、ジュゴン折り紙を配ったり、署名を集めたり
 - ★会場前では、着ぐるみジュゴンと一緒にパフォーマンス
 - ★英語版のチラシもあります! 海外の人へもアタック!!
 - ★ジュゴングッズの販売もします
- 少しの時間でも大歓迎です。気軽に応援に来て下さい。
 (詳しいスケジュールは、ニュース5面をご覧ください)



◆会員のみならずぜひ応援に来て下さい!!◆
 (もちろん会員でなくても大歓迎です)

ジュゴンの写真展示をしませんか?

SDCC所有の写真パネルを貸し出しています。イベントやミニ写真展などでご活用ください。お問い合わせは下記SDCC事務所(首都圏・関西)まで。

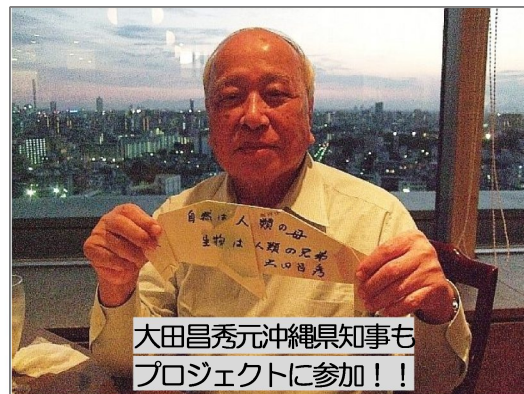
貸し出し出来る写真パネル(A3、A4)

- ・ジュゴンの写真と説明
- ・辺野古・大浦湾の生きもの
- ・辺野古新基地建設
- ・生物多様性とは
- ・SDCCの活動 など



COP10折り紙プロジェクト

「動物、鳥や花など生きものを折り、メッセージを書いて投稿しよう」というプロジェクトがあります。ジュゴン折り紙を折って投稿しませんか?詳しくはこちらをご覧ください。
<http://www.cop10-origami.com/service/step/>



9/3東京都北区で開催された「広げよう「無防備運動」上映と講演のつどい」にて

「自然は人類の母、生物は人類の兄弟」

Editor's Note

久々に編集作業しました。やっと涼しくなってきました。いよいよCOP10。名古屋でも目立ちまくってきます。皆さんも一緒に「基地ではなくジュゴン保護区を!」をぶめませんか。それにしても名護市議選大勝利、うれしかったです。(Y)

☆ジュゴン保護署名にご協力を!

5月28日に30524 筆第1次提出しました。次回集約は10月末です。皆さまの更なるご協力をお願いいたします。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.52 2010年9月21日発行
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
 Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区土土八幡町2-2 1
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪府都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
 TEL/FAX 06-6353-0514

